

兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク

# 加賀宝生の魅力 能楽体験と “ろうそく能” 鑑賞会

平成29年 11月4日(土)

# KAGA HOSHO

## 鑑賞会

## 体験

無料  
要申込

- 日時：11月4日(土) 13:00～(1時間半程度)  
※12時30分～受付開始
- 場所：石川県立能楽堂
- 定員：50名程度(お申し込み順)
- 内容：能舞台での体験、装束等鑑賞など
- 料金：無料
- お申込み・お問い合わせ先  
いしかわの伝統文化活性化実行委員会  
(石川県文化振興課内)  
TEL:076-225-1372



- 日時：11月4日(土) 16:00開演(15:00開場)  
一調「山姥」……佐野 由於  
狂言「樋の酒」……太郎冠者・能村 祐丞  
ろうそく能「井筒」……シテ：松田 若子
- 会場・お問合わせ  
石川県立能楽堂 TEL・FAX:076-264-2598  
〒920-0935 金沢市石引4丁目18-3
- 料金：1,500円[全席自由] (高校生以下無料)  
※満席の場合、当日券を販売しないことがございます。  
チケットは、早めにお買い求め下さい。
- チケットのお求め  
●石川県立能楽堂  
●石川県立音楽堂 チケットボックス  
(TEL:076-232-8632)  
●香林坊大和プレイガイド(TEL:076-220-1332)  
●e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

写真提供 / (公社)金沢能楽会

TOKYO 2020  
文化  
オリンピック



beyond  
2020



主催 / 兼六園周辺文化の森活性化推進実行委員会  
※駐車場は台数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



## 能楽体験

●時間/13:00~(12:30 受付開始)

能楽の魅力を体験してみませんか?

- 内容 …… ●能舞台にて能楽の楽器体験
- 能(仕舞)、狂言の体験
- 能面や装束の鑑賞と解説
- 普段見ることのできない鏡の間の見学

■ 講師 …… 金沢能楽会能楽師

※お願い:能舞台に上がる際、白足袋が必要です。お持ちの方はご持参ください。



# KAGA HOSHO

## ろうそく能鑑賞会

●時間/16:00開演(15:00開場)

◎解説 佐々木 香織(石川工業高等専門学校准教授)

■ 一調「山姥」………(謡)佐野 由於 (太鼓)麦谷 暁夫

■ 狂言「樋の酒」………(太郎冠者)能村 祐丞 (主人)荒井 亮吉 (次郎冠者)炭 哲男

あらすじ …… 主人の留守中、蔵の番を仰せつかった太郎冠者と次郎冠者。酒蔵の番を預かった次郎冠者は早速手を付けて呑み始める。うらやましがる米蔵の太郎冠者には竹の樋を使って酒を進上。二人、酒盛りが始まるが…。

■ 火入れの儀

■ 能「井筒」………(シテ)松田 若子 (ワキ)平木 豊男

(笛)江野 泉 (小鼓)住駒 幸英 (大鼓)飯嶋 六之佐

(後見)佐野 由於 佐野 玄宜 藪 克徳

(地謡)広島 克栄 高橋 右任 島村 明宏 渡邊 茂人  
高橋 憲正 佐野 弘宜 松本 博 木谷 哲也

あらすじ …… 僧侶が在原寺を訪れると女が現れる。業平と井筒の女との恋物語を語り、自らその女の霊だと明かして消える。やがて業平の形見を纏った女が再び現れて舞い、井戸に写した業平の面影を偲ぶうち、夜明けと共に消える。



火入れの儀



「井筒」



「井筒」

石川県立美術館蔵「増女」

## 加賀宝生 金沢能楽会

五代藩主綱紀の時代より加賀藩では、能を愛好する藩主が続き幕末まで能役者を手厚く保護しました。

その一方で、細工所の職人たちにも能楽の一部を兼芸させ、教養を高めさせると同時に能の人材として育成し、また領民たちにも推奨しました。これにより、世に「加賀宝生」といわれるほどの能楽の盛んな土地がらとなりました。一時、幕藩体制の崩壊によって加賀宝生も衰退しましたが、佐野吉之助師の登場により、1901年金沢能楽会が設立され、以来100年以上の長きに渡り、連綿と伝統を受け継ぎ現在にいたっています。

現在、石川県立能楽堂において定例能を催し、通算回数は1,100回以上に及んでいます。